

始良市新学校給食センター整備基本計画  
策定支援業務委託事業者特定結果報告書

令和4年9月26日

始良市新学校給食センター整備基本計画  
策定支援業務委託事業者選定委員会



## 1 はじめに

始良市新学校給食センター整備基本計画策定支援業務委託に係る公募型プロポーザル実施要領（以下「プロポーザル実施要領」という。）に基づき、参加資格を有する者を公募により募集し、始良市新学校給食センター整備基本計画策定支援業務事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）による審査を経て最優秀者及び次順位者を特定しました。

## 2 特定までのスケジュール

令和4年7月19日（火）	第1回選定委員会
令和4年7月21日（木）	プロポーザルの公告
令和4年7月27日（水）	参加表明手続に関する質問の受付期限
令和4年7月29日（金）	参加表明手続に関する質問の回答日
令和4年8月3日（水）	参加表明書等の提出期限
令和4年8月19日（金）	第2回選定委員会（一次審査） 企画提案書等の提出要請
令和4年9月7日（水）	企画提案書等の提出期限
令和4年9月15日（木）	プレゼンテーション及びヒアリング審査 第3回選定委員会
令和4年9月21日（水）	特定結果の通知

## 3 選定委員会

選定委員会規程第3条の規定に基づき、次の者をもって組織し、審査を実施しました。

委員長	副市長	宮田 昭二
副委員長	教育長	小倉 寛恒
委員	教育部長	塚田 佳明
委員	総務部長	高山 八大
委員	企画部長	今別府 浩美
委員	農林水産部長	田代 信彦
委員	建設部長	有江 浩文
委員	財政課長	堂路 温幸

## 4 参加表明書等の提出状況及び一次審査

参加表明書等の提出期限までに、次の3者から提出がありました。公平性、公正性を期すために企業名等を伏せて、参加表明書等の提出順にA者、B者、C者とそれぞれ割り振りました。

A者：パシフィックコンサルタンツ株式会社 鹿児島事務所

B者：株式会社建設技術研究所 鹿児島事務所

C者：日本工営都市空間株式会社 鹿児島事務所

令和4年8月19日に開催した第2回選定委員会において、審査を行い、参加資格を満たしていることが確認されたことから、3者に対して、企画提案書等の提出を求めました。

## 5 企画提案の課題テーマ等

企画提案	課題テーマ	安全・安心な学校給食の提供
		食育の推進
		効果的・効率的な運営
	自社の独自性、優位性及び自由提案	
業務実施方針		
業務フロー		

## 6 企画提案書等の提出

提出期限までに技術提案書等が以下の順番で提出されました。

- 1 番目 A者：パシフィックコンサルタンツ株式会社 鹿児島事務所
- 2 番目 C者：日本工営都市空間株式会社 鹿児島事務所
- 3 番目 B者：株式会社建設技術研究所 鹿児島事務所

## 7 プレゼンテーション及びヒアリング審査

企画提案書の提出順により、各者の発表順を決定し、プレゼンテーション及びヒアリングでは、プレゼンテーション20分、ヒアリング20分の時間配分で各者の審査を行いました。

## 8 審査講評

参加資格審査（一次審査）においては、3者とも高い水準で会社の実績及び管理技術者等の資格、経験、業務実績を有していました。

プレゼンテーション及びヒアリング審査（二次審査）においては、3者とも、最新の衛生基準の考え方を取入れた施設計画や、受配校の受入れ体制、配送計画の検討など、どれも素晴らしい提案でしたが、最優秀者となった株式会社建設技術研究所鹿児島事務所は、特に課題テーマの理解度が高く、それらを実施する手順も明確で、取組意欲も高かったと感じました。また、業務実施方針及び業務フローについても、「基本計画策定」と「事業手法検討」の2チーム体制の構築など、効率性も重視していました。さらに、独自提案でプレサウンディング調査（事前の市場調査）の実施を提案したことも高評価につながりました。ヒアリングの質疑に対して的確だったこともあり、審査委員8人の採点の結果、すべてにおいてバランス良く提案した株式会社建設技術研究所鹿児島事務所が最優秀者に特定されました。

○最優秀者 株式会社建設技術研究所 鹿児島事務所

○次順位者 パシフィックコンサルタンツ株式会社 鹿児島事務所